

病院内の褥瘡対策チームにおいては、ラップ療法と聞くと眉をひそめる人が未だに多いのかもしれませんが。しかし、もうそんな時代は過ぎ去りました。2010年3月の日本褥瘡学会の理事会見解を持ち出すまでもなく、いまや在宅を中心にラップ療法の名は堂々たる市民権を獲得しています。偏見を取り除いて見つめてみましょう。そこには、草の根から始まり標準治療の一つに数えられるようになるまでの多くの知恵が詰まっています。私たちはラップ療法そのものよりも、そのプロセスに注目しています。いろんな角度からラップ療法を見つめ直してみましょう！

チーム医療フォーラム代表理事 秋山和宏

# 話して、

ラップ療法の“実際ってどう？”いろいろと意見が分かれるところもあるラップ療法ですが、まずは自分の目で、耳で、そして経験から考えて見ませんか？百聞は一見にしかず。ラップ療法の“現在”について、若葉オストミーセンター小林和世氏など、第一線で実践する方々の“体験”をもとに、その可能性をみなさんと共に探っていきます。

第3回目のお題は



## 「ラップ療法」

についてです！

# 深める。

## 第3回 ツ・ナ・ガ・ル タウンミーティング

日時： 2011年1月18日(火) 18:45～20:30 ※途中参加歓迎！

場所： 松戸市民劇場 松戸駅西口より徒歩5分

参加費： **無料** ※事前申し込みは不要、直接会場にお越しください。

内容： 基調講演+公開座談会+参加者との質疑応答&フリーディスカッション

主催： 一般社団法人 チーム医療フォーラム「ツ・ナ・ガ・ル」編集部  
E-Mail : office@teamforum.or.jp



### 【タウンミーティングとは】

ツ・ナ・ガ・ル編集部はチーム医療に取り組む医療人をサポートすべく、記事の作成を行っていますが、その情報を真に有益とするには、さまざまな角度や視点からの、正確で公正な情報の提供が不可欠であると考えています。一つ一つのテーマを皆さんと共に学び、深く掘り下げながら考えていく…タウンミーティングは、それを実現する私たちと皆さんの大切な出逢いの“場”です。

※タウンミーティングの内容（発言・画像・場内写真など）は、当法人の発行媒体（季刊誌、Webなど）で、掲載、使用させていただきます。